

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成17年12月1日発表

平成17年産水陸稲の収穫量（九州）

- 水稲収穫量は前年比12%増の96万t -

【調査結果の概要】

- 九州における平成17年産水陸稲の収穫量は95万9,700tとなりました。
また、水陸稲の作付面積は20万2,400haとなりました。
- 水稲の収穫量は95万9,500tで、台風等の影響で作柄が不良となった前年産に比べ10万3,700t（12%）増加しました。
また、陸稲は181tで、前年産に比べ21t（10%）減少しました。
- 水稲の作柄は、10a当たり収量が474kg、作況指数は94となりました。
県別には、福岡96、佐賀93、長崎95、熊本93、大分91、宮崎97、鹿児島98となりました。

表1 平成17年産水陸稲の収穫量（九州）

区分	水陸稲計		水稲				
	作付面積	収穫量	作付面積	10a当たり 収量	10a当たり 平年収量	作況指数	収穫量
	ha	t	ha	kg	kg		t
九州計	202 400	959 700	202 300	474	503	94	959 500
福岡	41 600	200 500	41 600	482	501	96	200 500
佐賀	29 500	144 800	29 500	491	530	93	144 800
長崎	14 700	66 200	14 700	450	473	95	66 200
熊本	42 700	204 100	42 600	479	515	93	204 100
大分	26 200	120 300	26 200	459	503	91	120 300
宮崎	21 900	103 100	21 800	473	488	97	103 100
早普 期通	-	-	9 370	488	463	105	45 700
鹿児島	25 900	120 600	25 800	467	478	98	120 500
早普 期通	-	-	6 360	459	436	105	29 200
普通	-	-	19 500	469	492	95	91 500

区分	陸稲		
	作付面積	10a当たり 収量	収穫量
	ha	kg	t
九州計	89	203	181
福岡	-	-	-
佐賀	-	-	-
長崎	8	213	17
熊本	19	142	27
大分	1	193	2
宮崎	13	210	27
鹿児島	48	225	108

注： 1）計が内訳と一致しないのは、ラウンド（四捨五入）のためです（以下、各表においても同じです）。
2）「-」印は事実がないもの、「...」印は調査を欠くものを示します（同上）。

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

[<http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/home/sokuho.htm>]

この統計調査における調査目的、調査対象などの調査仕様は、【調査の仕様】7Pに掲載しています。

【解 説】

1 水稲の作柄概況

(1) 早期栽培

(主産県：宮崎・鹿児島)

穂数は、4月以降の好天で分けつが旺盛であったことから、平年に比べて多くなりました。

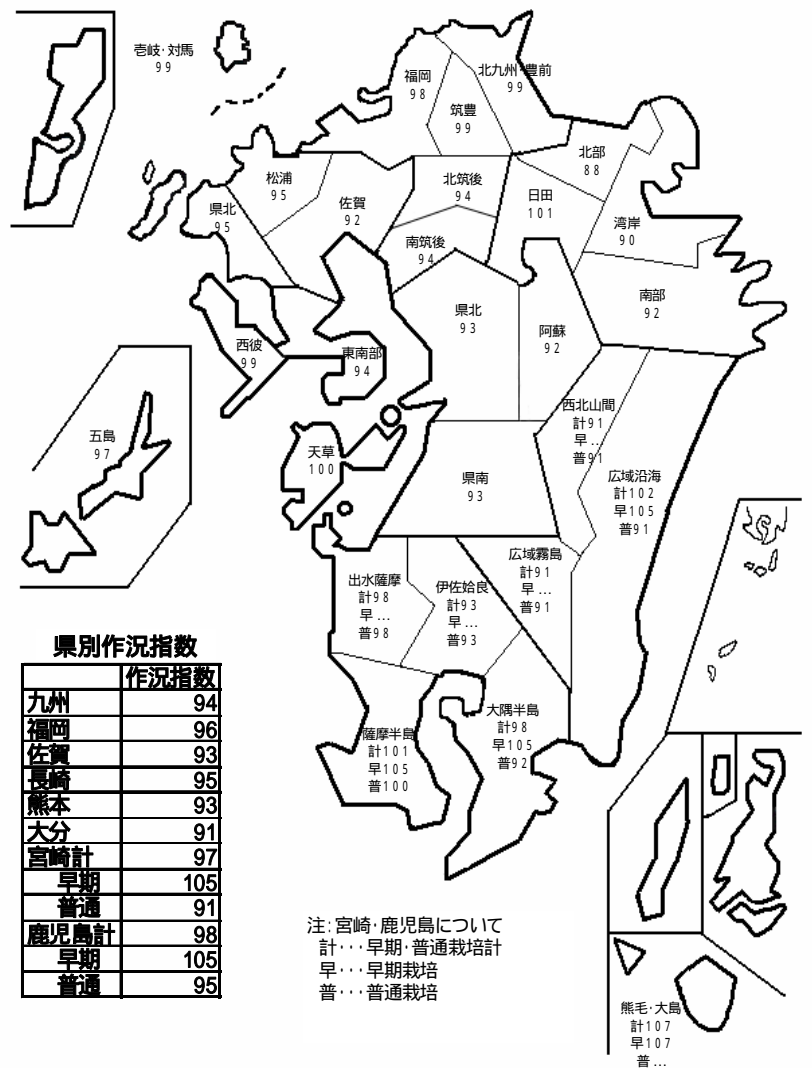
一穂当たりもみ数は、5月下旬が多照に経過したことから、宮崎はやや多く、鹿児島は平年並みとなりました。

全もみ数は宮崎・鹿児島とも多くなりました。

登熟は、7月上旬の日照不足の影響や穂揃いが悪かったことなどから米が多く発生し、宮崎は不良、鹿児島はやや不良となりました。

作柄は、宮崎・鹿児島ともに作況指数105となりました。

図 水稲の作柄表示地帯別作況指数



(2) 普通栽培

穂数は、概ね平年並みないしやや多くなりました。これは、7月中旬以降高温・多照に経過したことから、分けつが旺盛となったことによるものです。

全もみ数は、概ね平年並みないしやや多くなりました。これは、1穂当たりもみ数がやや少ないないし平年並みとなったものの、穂数が平年並みないしやや多くなったことによるものです。

登熟は、台風第14号による被害や高夜温の影響を受けたことから不良となりました。

また、高温等による乳白米、充実不良等が多く見られたこと、9月中旬以降ウンカの被害が多発したことなどから減収となりました。

作柄は、福岡が作況指数96、佐賀93、長崎95、熊本93、大分91、宮崎91、鹿児島95となりました。

表2 平成17年産水稻の生育概況（九州）

区 分	刈 取 期					穂 数 の 多 少	一 穂 も み 当 た り の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較					
				平年 比較	前年 比較				
	月 日	月 日	月 日			(平 年 比 較)			
福 岡	8.25	10.2	10.20	3日早	4日早	やや多い	平年並み	やや多い	不良
福岡	8.19	10.10	10.18	2日早	2日早	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
北九州・豊前	8.21	9.17	10.14	5日早	9日早	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
筑豊	8.14	9.18	10.17	5日早	8日早	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
北筑後	9.20	10.10	10.22	3日早	2日早	やや多い	平年並み	やや多い	不良
南筑後	9.21	10.10	10.25	2日早	1日早	多い	やや多い	多い	不良
佐 賀	8.25	10.8	10.27	2日早	1日早	やや多い	やや少ない	平年並み	不良
佐賀	9.18	10.9	10.30	2日早	1日早	やや多い	やや少ない	平年並み	不良
松浦	8.12	9.23	10.14	3日早	4日早	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
長 崎	8.17	10.8	10.23	並み	並み	やや多い	平年並み	やや多い	不良
西彼	9.18	9.25	10.8	3日早	8日早	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
東南部	10.3	10.15	10.24	1日遅	4日遅	多い	やや少ない	やや多い	不良
県北	8.15	10.8	10.20	1日早	3日早	やや多い	平年並み	やや多い	不良
五島	8.9	9.25	10.8	5日早	2日早	やや少ない	多い	やや多い	不良
壱岐・対馬	8.19	9.24	10.13	1日早	2日遅	やや多い	やや少ない	やや多い	やや不良
熊 本	8.17	10.5	10.24	2日早	3日早	やや多い	やや少ない	平年並み	不良
県北	9.21	10.12	10.25	1日早	2日早	やや多い	平年並み	やや多い	不良
阿蘇	9.13	9.25	10.16	2日遅	7日早	少ない	少ない	少ない	やや良
県南	9.10	10.9	10.30	3日早	3日早	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや不良
天草	8.3	8.8	10.11	並み	5日遅	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
大 分	9.11	10.10	10.24	6日早	9日早	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
北部	9.16	10.13	10.28	5日早	10日早	やや少ない	やや多い	平年並み	不良
湾岸	9.12	10.12	10.24	4日早	8日早	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
南部	9.4	10.9	10.21	3日早	5日早	平年並み	やや少ない	やや少ない	平年並み
日田	9.10	9.23	10.20	5日早	19日早	やや少ない	多い	多い	不良
宮 崎									
早 期	7.24	7.28	8.6	1日早	3日遅	多い	やや多い	多い	不良
広域沿海	7.24	7.28	8.6	1日早	3日遅	多い	やや多い	多い	不良
普 通	9.29	10.12	10.22	1日早	2日早	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや不良
広域沿海	9.24	10.8	10.18	並み	3日早	やや多い	やや少ない	平年並み	やや不良
広域霧島	10.2	10.16	10.23	並み	並み	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや不良
西北山間	9.23	10.2	10.19	4日早	7日早	少ない	やや少ない	少ない	平年並み
鹿 児 島									
早 期	7.24	7.31	8.11	2日遅	5日遅	多い	平年並み	多い	やや不良
薩摩半島	7.25	8.3	8.9	6日遅	10日遅	やや多い	多い	やや多い	平年並み
大隅半島	7.25	8.1	8.15	1日遅	4日遅	多い	やや少ない	多い	やや不良
熊毛・大島	7.14	7.19	7.30	並み	3日遅	多い	平年並み	多い	平年並み
普 通	10.4	10.13	10.24	並み	1日遅	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
薩摩半島	10.1	10.9	10.16	1日早	並み	やや少ない	やや多い	やや多い	やや不良
出水薩摩	10.3	10.14	10.24	1日遅	2日遅	少ない	多い	やや多い	やや不良
伊佐始良	10.7	10.16	10.30	並み	並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
大隅半島	9.28	10.8	10.17	2日遅	2日遅	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み

2 水稲の被害概況

水稲の被害面積は71万6,000ha、被害量は16万7,100tとなりました。

これは、台風第14号によるもみずれ、潮風害等が発生したこと、9月の高温等により乳白米等が多く見られ、さらにウンカ、紋枯病、もみ枯れ細菌等も多く発生したことによるものです。

表3 平成17年産水稲の被害種類別被害面積及び被害量(県別)

区 分	総 数		気象被害					
			計		うち 風水害		うち 高温障害	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
九州計	716 000	167 100	360 400	92 400	136 300	38 000	130 600	38 100
福 岡	119 800	26 400	48 500	13 400	21 100	4 610	26 200	8 300
佐 賀	112 400	27 300	60 900	15 800	24 700	6 650	22 900	6 210
長 崎	51 000	11 400	24 900	5 460	11 400	3 370	9 650	1 490
熊 本	132 600	36 000	78 000	24 900	25 000	10 900	26 000	8 170
大 分	51 300	22 200	24 000	14 600	15 200	4 600	8 620	9 930
宮 崎	101 000	19 600	53 800	8 980	14 700	3 020	17 000	1 880
鹿児島	147 800	24 100	70 200	9 250	24 200	4 880	20 200	2 070

区 分	病 害						虫 害	
	計		うち いもち病		うち 紋枯病		計	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
九州計	194 200	41 400	45 500	10 100	87 400	21 700	144 100	30 200
福 岡	33 900	5 000	6 040	1 020	13 600	2 260	31 300	7 310
佐 賀	33 300	8 010	2 020	249	23 000	6 010	17 400	3 120
長 崎	9 880	2 680	1 080	210	6 890	2 300	14 800	3 050
熊 本	33 200	5 990	8 670	1 420	11 200	1 830	20 500	4 960
大 分	18 500	5 230	5 190	1 240	6 740	2 370	7 420	1 940
宮 崎	29 400	6 180	10 800	2 670	10 100	2 700	16 500	3 700
鹿児島	36 100	8 300	11 700	3 290	15 900	4 180	36 100	6 100

区 分	虫 害				そ の 他	
	うち ウンカ		うち カメムシ		計	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t
九州計	41 800	20 100	20 800	3 430	17 300	3 060
福 岡	11 100	5 140	3 600	886	6 090	715
佐 賀	3 800	2 050	942	95	792	342
長 崎	5 120	2 380	2 060	244	1 460	227
熊 本	5 260	3 310	2 450	471	881	140
大 分	1 560	1 340	997	195	1 380	460
宮 崎	6 640	2 280	4 050	944	1 330	696
鹿児島	8 310	3 620	6 680	597	5 350	479

参考1 平成17年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（収穫期）

区 分	作況指数	区 分	作況指数
福 岡	96	宮 崎	97
福 岡	98	広域沿海	102
北九州・豊前	99	広域霧島	91
筑 豊	99	西北山間	91
北筑後	94	早 期	105
南筑後	94	広域沿海	105
佐 賀	93	普 通	91
佐 賀	92	広域沿海	91
松 浦	95	広域霧島	91
長 崎	95	西北山間	91
西 彼	99	鹿 児 島	98
東南部	94	薩摩半島	101
県 北	95	出水薩摩	98
五 島	97	伊佐始良	93
壱岐・対馬	99	大隅半島	98
熊 本	93	熊毛・大島	107
県 北	93	早 期	105
阿 蘇	92	薩摩半島	105
県 南	93	大隅半島	105
天 草	100	熊毛・大島	107
大 分	91	普 通	95
北 部	88	薩摩半島	100
湾 岸	90	出水薩摩	98
南 部	92	伊佐始良	93
日 田	101	大隅半島	92

参考 2 平成17年産水稻玄米重のふるい目幅別重量分布状況及び10a当たり収量内訳

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は農産物検査規格三等以上の品位を有し、かつ、ふるい目幅1.70mm以上に選別された玄米の量としています。

農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、ふるい目幅別の重量割合とふるい目幅別10a当たり収量内訳を示すと次のとおりです。

単位 { 重量割合 : %
平均対差 : ポイント
収量内訳 : kg

区分	合計	ふるい目幅						
		2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm	
農業地域								
九州								
重量割合	本年値	100.0	55.5	29.2	6.7	4.1	2.6	1.9
	平均対差		2.9	1.2	0.6	0.5	0.2	0.4
	(収量内訳)	(474)	(263)	(401)	(433)	(453)	(465)	(474)
福岡								
重量割合	本年値	100.0	55.9	28.8	7.3	3.9	2.2	1.9
	平均対差		3.7	1.6	1.3	0.4	0.1	0.3
	(収量内訳)	(482)	(269)	(408)	(443)	(462)	(473)	(482)
佐賀								
重量割合	本年値	100.0	53.9	28.2	6.7	5.8	3.3	2.1
	平均対差		6.3	2.8	0.9	1.7	0.6	0.3
	(収量内訳)	(491)	(265)	(403)	(436)	(464)	(481)	(491)
長崎								
重量割合	本年値	100.0	55.0	29.6	6.3	4.7	2.6	1.8
	平均対差		1.1	0.8	0.3	0.8	0.1	0.1
	(収量内訳)	(450)	(248)	(381)	(409)	(430)	(442)	(450)
熊本								
重量割合	本年値	100.0	57.0	28.5	5.6	3.7	2.8	2.4
	平均対差		2.9	0.8	0.1	0.5	0.5	1.0
	(収量内訳)	(479)	(273)	(410)	(436)	(454)	(468)	(479)
大分								
重量割合	本年値	100.0	52.0	32.0	7.7	3.9	3.1	1.3
	平均対差		6.3	5.1	0.6	0.6	0.0	0.0
	(収量内訳)	(459)	(239)	(386)	(421)	(439)	(453)	(459)
宮崎								
重量割合	本年値	100.0	54.5	31.4	7.0	3.3	2.1	1.7
	平均対差		0.4	1.3	0.7	0.4	0.3	0.3
	(収量内訳)	(473)	(258)	(406)	(439)	(455)	(465)	(473)
鹿児島								
重量割合	本年値	100.0	58.3	27.6	6.3	4.0	2.2	1.6
	平均対差		2.7	2.4	0.2	0.4	0.2	0.1
	(収量内訳)	(467)	(272)	(401)	(431)	(449)	(460)	(467)

注：1) 平均対差に用いた平均値は、直近3か年の重量割合の平均です。

2) (収量内訳)の合計は、10a当たり収量です。

3) 台風等により、未熟粒・被害粒等の混入が多く、農産物検査規格三等に達しない場合は、再選別後の値となっています。

【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び稲調査の中の水陸稲の収穫量調査として実施し水陸稲の作付面積、作柄状況、収穫量を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための基礎資料とすることを目的としています。

2 調査期間

- (1) 作付面積調査
 - ア 水 稲：7月15日現在
 - イ 陸 稲：収穫期
- (2) 収穫量調査
 - 水陸稲：収穫期

3 調査方法

- (1) 作付面積調査
 - ア 水稲：調査は、標本単位区に対する職員による実測調査及び巡回・見積もりにより取りまとめました。
 - イ 陸稲：調査は、職員による関係団体に対する面接調査、巡回・見積もりにより取りまとめました。
- (2) 収穫量調査
 - ア 水稲：調査は、作況標本筆、基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び巡回・見積もりにより取りまとめました。
 - イ 陸稲：調査は、職員による関係団体に対する面接調査、巡回・見積もりにより取りまとめました。

4 調査客数

- (1) 作付面積調査
 - ア 水稲
標本単位区：5,790単位区 巡回・見積り：380市町村
 - イ 陸稲
面接調査：545団体等 巡回・見積り：380市町村
- (2) 収穫量調査
 - ア 水稲
作況標本筆：1,395筆 作況基準筆：233筆 巡回・見積り：380市町村
 - イ 陸稲
面接調査：485団体等 巡回・見積り：380市町村

5 用語の解説

作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率です。
10a当たり平年収量とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。
被害量とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、被害なかりせば収量（その被害が発生しなかったと仮定した場合に取れ得ると見込まれる収量）より減収した量をいいます。

【関連リンク】

九州農政局ホームページ > 農林水産情報 > 農林水産統計
<http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/home/sokuho.htm>

九州農政局ホームページアドレス
<http://www.kyushu.maff.go.jp/>

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部
生産流通消費統計課 生産統計第1・2係
電 話：(代) 096 - 353 - 3561 内線 4753・4754
直通電話： 096 - 353 - 7574

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部
統計企画課 企画第2係
電 話：(代) 096 - 353 - 3561 内線 4723
直通電話： 096 - 353 - 7556